

令和 6 年 9 月 2 日

見附市議会議長 様

見附市議会議員 五十嵐 遼

一 般 質 問 通 告 書

下記のとおり質問したいので、会議規則第 6 1 条第 2 項の規定により通告します。

質問事項 (主題を記載してください。議場配布の一覧表に印刷)

【 1 】 災害 20 年の節目に考える見附市の防災対策について

答弁を求める者 市長・教育長

- 1 今年は見附市にとって 2 つの災害から 20 年という節目の年を迎えます。2004 年 7 月 13 日の「7.13 水害」と 10 月 23 日の「新潟県中越地震」です。この大きな災害を経験し、全国的にも先進的な防災対策に取り組んでいるのが見附市です。

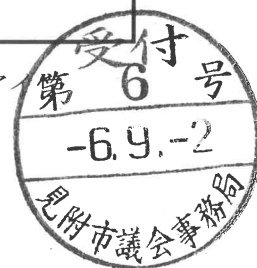
地震による被害は今年に入っても全国各地で観測されています。今年の元旦には能登半島地震が発生し、最近では 8 月 8 日の日向灘地震が発生しました。この日向灘地震の影響で「南海トラフ地震臨時情報」が発表され、不安な 1 週間を過ごされた方も多かったと思います。能登半島や九州ではいまでも復旧・復興作業が続いており、1 日も早い復旧・復興を願います。

また、近年では線状降水帯によって集中豪雨となり、水害も全国で発生しています。今年 7 月下旬の山形県でも線状降水帯による大雨で水害が発生した。これは、山形県で過去に観測された最大の雨量を超える大雨でした。そして、この水害による被害は 889 億円にも上ります。

「天災は忘れたころにやってくる」という有名な言葉が残っているように、いつ災害が起きるかは分かりません。行政も私たち一人ひとりも常に備えを行い、災害発生時に対応できるようにしていかなければなりません。そこで、大きな災害を経験した 20 年の節目である今年に改めて防災について考え、現状の見附市の防災対策と今後について、以下お伺いします。

※ 番号のつけ方 (大項目) 1 2 3 (中項目) (1) (2) (3) (小項目) A

No. 1



- (1) 見附市では毎年 6 月に総合防災訓練を行っていますが、今年度の防災訓練の参加者はどのくらいの人数だったのか伺います。
- (2) 現時点での避難行動要支援者個人名簿の登録人数と要支援者の個別避難計画の策定状況について伺います。併せて、避難支援者の充足率はどのようになっていますか。
- (3) 町内会や自主防災組織においても今後は高齢化などの課題に直面し、防災組織としての役割の低下も考えられる。それを補完する位置づけに地域コミュニティがあると思うが、市が地域コミュニティに求める防災の役割についてどのようにお考えですか。
- (4) 災害時には、土砂崩れなどによる二次災害についても警戒をしなければなりません。市内でも、土砂災害警戒区域がありますが、市はこの地域の住民と災害や対策の話し合いなどは行っているか。また、住民の理解度や移転を含めた二次災害回避の道筋はあるのか、お伺いします。

(5) 災害時には自助・共助・公助の連携が重要です。私たち一人ひとは、まず個人の意識醸成のために自助の取り組みを行っていかねればなりません。その中には防災教育も含まれます。今回はとりわけ、学校現場における防災教育でどのような取り組みをされているか、お伺いいたします。

(6) 国が示した「デジタル社会の実現に向けた重点計画」の中でも、防災 DX が重点的な取り組みの一つとして指定されている。見附市における防災分野の DX の現況についてお聞かせください。